

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

でん粉の需給見通し

【令和2でん粉年度（見込み）】

需要量：240万1000トン（前年度比2.5%減）

供給量：244万0000トン（同2.1%減）

【令和3でん粉年度（見通し）】

需要量：255万5000トン（同6.4%増）

供給量：258万5000トン（同5.9%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元でん粉年度 (実績)	令和2でん粉年度 (見込み)		令和3でん粉年度 (見通し)				
		計	10～3月	4～9月	計	10～3月	4～9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	875	1,625	815	920	1,736	
	化工でん粉	301	121	152	274	145	156	301	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	495	223	279	503	255	263	518	
	合計	2,462			2,401			2,555	
供給	前年度繰り越し	14			32			39	
	国産いもでん粉(生産量)	208	186	—	186	182	—	182	
		かんしょでん粉	28	21	—	21	23	—	23
		ばれいしょでん粉	180	164	—	164	159	—	159
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,129	2,065	1,037	1,159	2,196
		輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	138	60	69	129	69	69	138
	輸入でん粉(その他用)	9	5	8	13	8	8	15	
	小麦でん粉	16	8	7	15	8	7	15	
	合計	2,493			2,440			2,585	
	次年度繰り越し	32			39			30	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	15	20	5	14	19	9	29	39
		化工でん粉	1	20	21	0	15	15	1	35	36
		その他	4	19	23	5	21	26	9	40	49
		小計	10	54	64	10	50	60	20	104	124
	その他の用途	0	30	30	0	36	36	0	67	67	
	計	10	84	94	10	87	96	20	170	190	
供給	前期からの繰り越し	6	33	39	18	108	127	6	33	39	
	生産量	23	159	182	0	0	0	23	159	182	
	計	29	192	221	18	108	127	29	192	221	
次期への繰り越し		18	108	127	9	22	30	9	22	30	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

(1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

【糖化用向けでん粉の需要量】

令和2でん粉年度は、前年度からわずかに減少の見込み

令和2でん粉年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による外出自粛の影響により、引き続き清涼飲料向けの販売が減少していることなどから、前年度を4万1000トン下回る162万5000トンと見込まれる。

3でん粉年度は、COVID-19による外出自粛の影響が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて人の移動が活発になり、清涼飲料向けの需要の回復が一定程度想定されるとし、前年度を11万1000トン上回る173万6000トンと見通している。

【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

令和2でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少の見込み

令和2でん粉年度は、COVID-19による外出自

粛の影響による清涼飲料などを含めた、製品の出荷の際に用いる製紙・段ボール向けの需要の減少に加え、外食需要の低迷による麺類向けなどの需要が減少していることなどから、前年度を2万7000トン下回る27万4000トンと見込まれる。

3でん粉年度は、COVID-19による外出自粛の影響が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて人の移動が活発になり、清涼飲料など向け、製紙・段ボール向け、外食向けなどの需要の回復が一定程度想定されるとし、前年度を2万7000トン上回る30万1000トンと見通している。

【その他用途向けでん粉の需要量】

令和2でん粉年度は、前年度からわずかに増加の見込み

令和2でん粉年度は、引き続きCOVID-19による外出自粛の影響により、外食産業用に供するビールや食品向け、製紙・段ボール向けの需要が減少しているものの、巣ごもり需要によるインスタント食品などの家庭向け食品の需要が増加していることが

ら、前年度を8000トン上回る50万3000トンと見込まれる。

3でん粉年度は、COVID-19による外出自粛の影響が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて人の移動が活発になり、外食産業向けの片栗粉などの需要の回復が一定程度想定されるとし、前年度を1万5000トン上回る51万8000トンと見通している。

(2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

【かんしょでん粉の生産量】

令和2でん粉年度は、前年度から大幅に減少

令和2年産の原料かんしょの生産量が、平成30でん粉年度からの3年連続のサツマイモ^{もとぐされ}基腐病発生の影響により減少したことから、かんしょでん粉の生産量は、前年を7000トン下回る2万1000トンと見込まれる。

3年産については、産地でのサツマイモ基腐病対策の徹底などにより前年産からの回復が見込まれることから、かんしょでん粉の生産量は前年を2000トン上回る2万3000トンと見通している。

【ばれいしょでん粉の生産量】

令和2でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

令和2年産の原料ばれいしょの生産量は、6月後半の低温・日照不足の影響による着いも数の減少などにより減少が懸念されることから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を1万6000トン下回る16万4000トンと見込まれる。

3年産については、雨不足の影響により、いもの肥大の抑制が見込まれていることなどから、ばれいしょでん粉の生産量は前年を5000トン下回る15万9000トンと見通している。

【コーンスターチの供給量】

令和2でん粉年度は、前年度からわずかに減少

令和2年産（2020年産）は、COVID-19による外出自粛の影響により、コーンスターチなどから製造される異性化糖の主な用途である清涼飲料の販売が減少していることから、2でん粉年度の供給量はでん粉ベースで前年度を4万3000トン下回る206万5000トンと見込まれる。

3年産（2021年産）は、COVID-19による外出自粛の影響が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて、人の移動が活発になり、清涼飲料向けの需要や外食需要の回復が一定程度想定されるとし、前年度を13万1000トン上回る219万6000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

令和2でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

令和2でん粉年度は、COVID-19による外出自粛の影響により異性化糖の清涼飲料向けの販売が減少していることなどから、前年度を9000トン下回る12万9000トンと見込まれる。

3でん粉年度も、COVID-19による外出自粛などの影響による需要減退の継続が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて人の移動が活発になり、清涼飲料向けの需要や外食需要の回復も想定されることから、近年の需要に応じた輸入がなされるとし、前年度を9000トン上回る13万8000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（その他用）

令和2でん粉年度は、前年度から大幅に増加

令和2でん粉年度は、巣ごもり需要によるインス

タント食品などの家庭向け食品の需要が増加していることから、前年度を4000トン上回る1万3000トンと見込んだ。

3でん粉年度は、COVID-19による外出自粛などの影響が懸念される一方、ワクチン接種が進むにつれて人の移動が活発になり、外食需要の回復が一定程度想定されるとし、前年度を2000トン上回る1万5000トンと見通している。

【小麦でん粉の供給量】

令和2でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、令和2でん粉年度は前年度を1000トン下回る1万5000トンと見込んだ。

3でん粉年度についても、安定した供給がなされると見込まれ、前年並みの1万5000トンと見通している。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

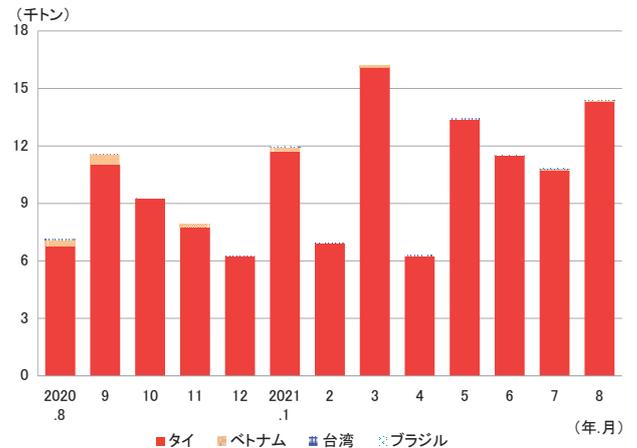
8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のタピオカでん粉の輸入量は、1万4365トン（前年同月比2.0倍、前月比32.8%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先国はタイ、ベトナムおよび台湾の3カ国で、輸入量は次の通りであった。

タイ	1万4341トン
	（前年同月比2.1倍、前月比33.9%増）
ベトナム	19トン
	（同94.3%減、同82.3%減）
台湾	6トン
	（同11.3%減、同55.6%増）

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

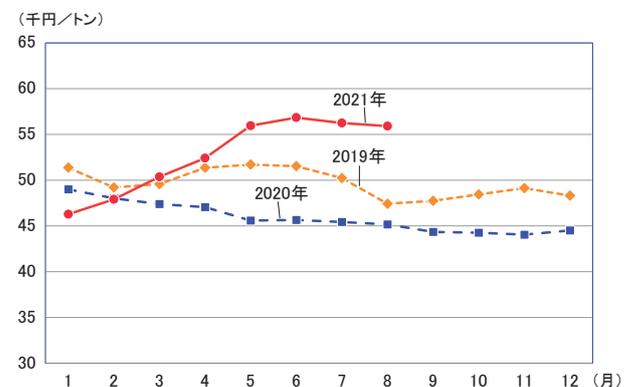
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、5万5910円（前年同月比23.8%高、前月比0.6%安）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	5万5680円
	（前年同月比24.4%高、前月比0.5%安）
ベトナム	13万4236円
	（同2.6倍、同2.2倍）
台湾	38万2801円
	（同2.2倍、同22.4%高）

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

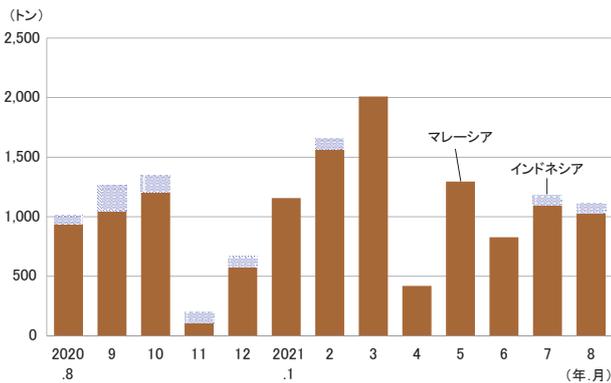
8月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のサゴでん粉の輸入量は、1116トン（前年同月比10.3%増、前月比5.8%減）と、前年同月からかなりの程度増加した（図3）。

輸入先国はマレーシアおよびインドネシアの2カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア	1026トン
（前年同月比9.1%増、前月比6.3%減）	
インドネシア	90トン
（同25.0%増、前月同）	

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



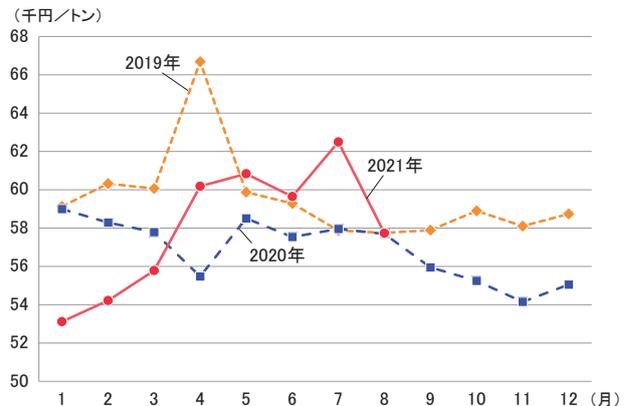
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、5万7729円（前年同月比0.1%高、前月比7.6%安）と、前年同月並みとなった（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア	5万7846円
（前年同月比0.2%安、前月比8.1%安）	
インドネシア	5万6400円
（同4.3%高、同0.5%安）	

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

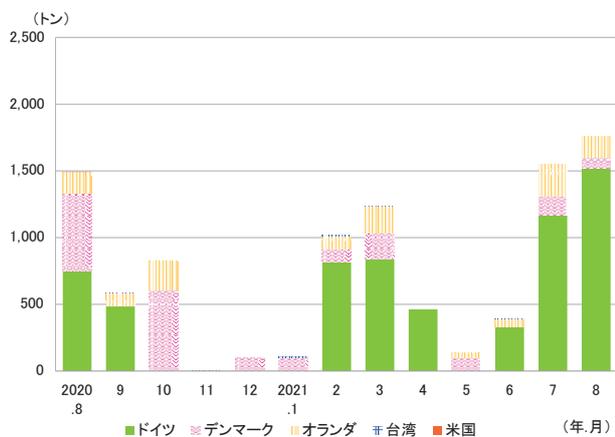
8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のばれいしょでん粉の輸入量は1759トン（前年同月比17.7%増、前月比13.3%増）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先国はドイツ、オランダおよびデンマークの3カ国で、輸入量は次の通りであった。

ドイツ	1518トン
（前年同月比2.0倍、前月比30.0%増）	
オランダ	160トン
（前年同月同、同34.4%減）	
デンマーク	81トン
（前年同月比86.1%減、同42.6%減）	

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



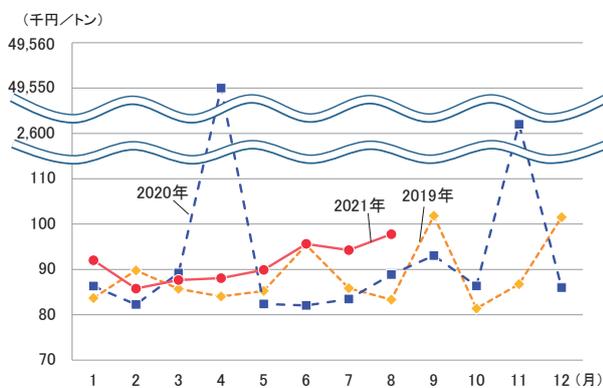
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、9万7771円(前年同月比10.0%高、前月比3.7%高)と、前年同月をかなりの程度上回った(図6)。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- ドイツ 9万8487円
(前年同月比9.5%高、前月比4.2%高)
- オランダ 9万1863円
(同7.5%高、同0.2%安)
- デンマーク 9万6037円
(同9.3%高、同0.1%安)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

8月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のでん粉誘導体の輸入量は、4万4506トン(前年同月比79.1%増、前月比38.2%増)と、前年同月から大幅に増加した(図7)。

でん粉誘導体の輸入先国は18カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約8割を占めており、次いでベトナム、ドイツとなっている(表3)。

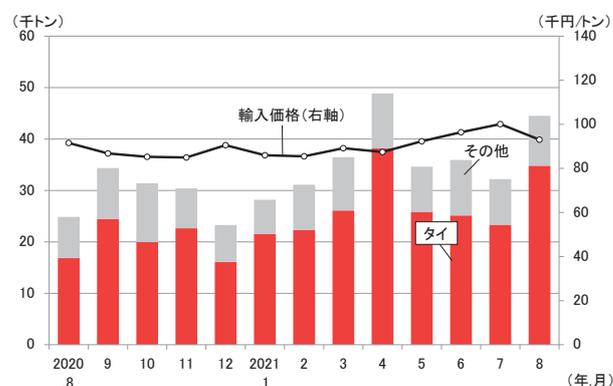
表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量(8月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア
合計	44,506	100.0%
うち タイ	34,812	78.2%
ベトナム	1,880	4.2%
ドイツ	1,311	2.9%
デンマーク	1,074	2.4%
フランス	1,040	2.3%
米国	896	2.0%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、9万3058円(前年同月比1.7%高、前月比7.0%安)と、前年同月をわずかに上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

8月の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のデキストリンの輸入量は、1153トン（前年同月比3.0%増、前月比21.5%減）と、前年同月からやや増加した（図8）。

デキストリンの輸入先国は10カ国で、輸入量は上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約6割を占めている（表4）。

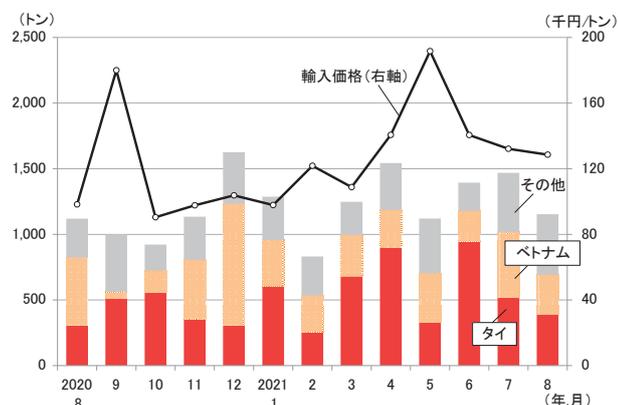
表4 デキストリンの主要輸入先国および輸入量(8月)

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,153	100.0%
うち タイ	389	33.7%
ベトナム	304	26.4%
米国	107	9.3%
ドイツ	100	8.7%
中国	86	7.5%
マレーシア	76	6.6%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、12万8547円（前年同月比30.9%高、前月比2.7%安）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

8月の輸入量は前年同月並み

財務省「貿易統計」によると、2021年8月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、22万1489トン（前年同月比0.03%減、前月比25.4%減）となり、前年同月並みとなった（図9）。

輸入先国は、米国および南アフリカの2カ国で国別の輸入量は次の通りであった。

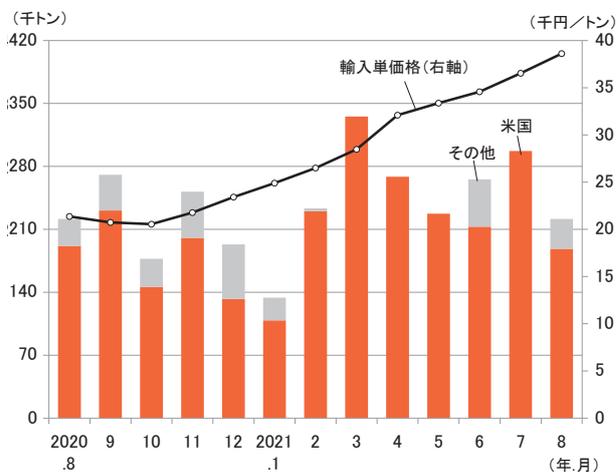
米国 18万8263トン
（前年同月比1.7%減、前月比36.6%減）
南アフリカ 3万3226トン
（同10.6%増、前月輸入実績なし）

2021年8月の1トン当たりの輸入価格は、3万8613円（前年同月比80.7%高、前月比5.7%高）と、前年同月を大幅に上回った。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 3万8461円
（前年同月比79.2%高、前月比5.3%高）
南アフリカ 3万9476円
（同90.5%高、前月輸入実績なし）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091